

新しい年に寄せて

起きよ、光を放て

日本キリスト教改革派
千里山教会牧師 弓矢健児



めるな。押し続ける。光が見えるだろう？そこに向かっては行ってけ。こう語って、核兵器禁止条約という光に向かって、世界中の人々に行動を呼びかけました。闇は決して光に勝つことはできません。大切なことは、小さくても私たち一人一人にあたえられている光を輝かせ、光に向かって勇気をもって歩み出すことです。

新しい年を迎えるにあたり、私たちが改めて闇の力に抵抗し、光を掲げて歩む決意を新たにしたいと思えます。聖書は語ります。「起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り、主の栄光はあなたの上に輝く。」
(イザヤ書60章1節)

和泉平和委員会

浅田 健司

新年を迎える私の任務及び希望は、家庭内での役割、平和諸活動の事など多面的ですが、今の私にとって何よりの希望は、自分自身の健康確保とその前進です。昔の事故により骨折した中で最近特に左膝の痛みが進行しているのです。通院と共に毎日無理のない徒歩継続が求められています。今年こそ毎日2時間以上の徒歩確保により健脚実現に努める決意です。平和行進も一日だけでなく、府内通し行進にともに参加できるよう頑張ります。

西谷教授との対談を終えて

片方真佐子副会長が「平和新聞」正月号の特集として西谷修（おさむ）立教大学特任教授と対談しました。以下はその感想文です。

12月、鶯の絡まる立教大学はクリスマス装飾で飾られています。研究室には、日本平和委員会事務局の西村美幸さんと私と2人で訪ねました。西谷先生は「12号館の下にタリーズ（コーヒーション）があるけど、あなたたちもいる？」と声をかけてくださり、インスタ映えならぬ新聞映えする写真を撮るために、「少し配置を変えた方がいいのかな」などと言いながら、テーブルや席を片付けられました。非常に気さく、ソフトな先生で、そのことを2人でお伝えすると、「よく、女子力があるとか、なんとか、言われるんだよね」と笑っておられました。

「平和新聞」上は紙幅に限りがあります。西谷先生は2時間超、大変多くのことを語ってくださいました。わたしも拝読しましたが、『戦争とはなんだろうか』（ちくまプリマー新書 2016年7月5日発行）が、とても分かりやすく、西谷先生の今回のお話は、基本的にはこちらに書かれていることが下地になっていると思います。吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』が再び流行っているようですが、あわせて読んでいただきたい内容です。西谷先生が強調しておられたの

は、戦争放棄、武力を持たない憲法九条を守れの運動は、もちろん重要だが、それ以上に、国家権力が国を私物化している、日本がそういう政権になっているというところが、どれだけ国民にとって重大事であるか、国民にその自覚があるかということでした。本文にもありますが、女性を暴行するという明らかな犯罪に対し、被告人が国家権力とつながる人物だということ、不起訴になる。忖度による国家、行政運営。憲法を守り、わたしたちの権利を守るということがどういふことかと、力説されておられました。また、安倍首相が「積極的平和主義」などという言葉を使って、自らの戦争できる国づくりを肯定する姿勢に対し、安倍首相の言葉の扱い方に憤っておられました。「平和委員会の『平和』は本当の意味で使っていると思うけど、安倍首相の『平和』は違う。だから、僕は最近『非戦』という言葉を使うようにしている」と話されていました。近々、西谷修先生の対談集が書籍となって発行されるそうですが、そのいくつかの対談を綴った対談集の書名は、法政大学の田中優子教授と「非戦」をテーマにした対談から選びとられたとのことでした。

西谷修先生は、フランス哲学者です。雑誌『世界』でトランプ政権について書かれたこともあり、ご存知の方も多いかもれません。安民法廃止を求める行動では、西

谷先生も国会前でマイクを握り、シールズ（自由と民主主義のための学生緊急行動、2016年8月解散）を支え、学生さんが発行した書籍に書評を書かれたりしています。国際的視野で戦争、平和、憲法を語られておられますが、立教大学のほか、神戸市外国語大学でも教鞭を取られておられ、関西にも年に数度となく来られているとか。いつか、大阪平和委員会でもお招きしてご講演いただく機会があればと思っています。



「平和新聞」正月号をお楽しみに！

今月の言葉—「強い意見」を持つことは可能でしょうか

イギリスのような国に住む私どもには世界の大問題についても、自分なりに考え、自分なりの意見を持つことが多少は期待されているかもしれませんが、現実の生活に追われている一般庶民があらゆる物事について「強い意見」を持つことなどはたして可能でしょうか。（『日の名残り』カズオ・イシグロ 早川書房）

*庶民の在り方の一面がとらえられている！



『憲法を武器として』関西初上映

大阪平和委員会は11月27日、事務所内で『憲法を武器として』を上映しました。国民救援会、大阪憲法会議、奈良県平和委員会など20人が鑑賞し、映画の最後にクレジットタイトルが出る大きな拍手が起こりました。

上映後の交流のなかでは、参加者から「学生時代に関連本を読んで『恵庭事件』についてわかっていたつもりだったが、今日この映画を見てあらためて事件の真相がつかめた」「奈良県で12月上映会をもつことになつていて、今日映画を見て上映会を成功させなければならぬという気持ちが強まった」など感想がでました。

この試写会は、うたごえ喫茶「ほっとすてんしょん」が映画のサンプル版を入手したおかげで実現したものです。

試写会終了後、上羽事務局長の働きかけで国民救援会事務局長が入会してくれました。

《上映会2月24日予定》



関西ブロック会議・舞鶴

関西ブロック会議が、11月25、26日京都府舞鶴市内で滋賀県を除く5府県21人(大阪からは鈴木副理事長と上羽事務局長)の出席で開かれました。

1日目。最初に千坂純日本平和委員会事務局長が「総選挙後の平和の課題と平和委員会の役割―戦争への道を許さないために―」とのテーマで報告。次いで片岡明京都平和委員会理事長が京丹後・米軍Xバンドリーダー基地の強化について報告。その後夕食交流会までと2日目午前中各府県・地域の平和運動と組織強化の課題について参加者全員発言でみっちりとした交流・討論を行いました。大阪は、近藤正理事長の「日本平和委員会常任理事会発言」と「平和の仲間増やし―拡大十則」及び「第6回組織委員会報告」のプリントを用意して交流・討論にのぞみました。

2日目午後には、オプシオン企画として海上自衛隊舞鶴基地関連施設の見学に充てられました。



盛況の常任理事会

大阪平和委員会は、12月6日常任理事会を27人の出席で開催しました。

西会長挨拶の後、東大阪府議補選に立候補し善戦した内海公仁常任理事が、大阪平和委員会の様々な支援にお礼の言葉を述べました。次いで布施祐仁「平和新聞」編集長の「朝まで生テレビ！」(11月25日)初出演のシーンをみんなで鑑賞。次いで議事に入り、「安倍改憲NO! 3000万署名」の推進、沖縄県名護市長選挙への支援者10人派遣、仲間づくり目標(会員1680、新聞1210)の年内達成等について午後8時過ぎまで熱心に交流・討論を行いました。



西淀川憲法学習会・総会

西淀川平和委員会は12月13日、同区内で憲法学習会と第5回総会を開催。それぞれに40人と33人が参加しました。

学習会の講師は西晃会長。「安倍改憲を許すな! 憲法9条と積極的平和主義」と題して講演。西会長は与党の予想される改憲スケジュール案(2018年通常国会に9条改憲案を自民党案として国会提出)と同国会期末・臨時国会で憲法改正を決議(2019年7月参院選までに憲法改正国民投票実施)を明らかにしました。そして国民投票に勝つための与党の仕掛けとして次の点をあげました。

- ◎ できるだけまとめて一本にして投票にかける
- ◎ 衆参の国政選挙と重ねて実施する
- ◎ 投票期間をできるだけ短くする
- ◎ 投票運動期間中に湯水のようにお金を使い、マスコミを支配して国民を改憲側に誘導する

そして西会長は、「安倍改憲阻止のために何が必要か?」とのテーマに移り、「発議しても国民投票で負けるのではないかと真剣に思わせること、3000万署名・総がり運動の成功、これに尽きる」と結論づけました。

憲法学習会の後、総会が開かれ今後の方針と、学習会を含めフル参加した穂久会長(写真)をはじめとする新年度役員が承認されました。

そして、望年会と銘打って朝から準備した恒例のおでんを頬張りながら食事交流で楽しい時間を過ごしました。

この学習会で会員が1人、新聞読者が1人増えました。

《1月の行事案内》

- 5 (金) 勤労協・新春学習会―「新しい世界の動きと日本」
講師 川田忠明日本平和委員会常任理事) 資料代 1000円
18:30 阿倍野区民センター大ホール (2F)
- 6 (土) 核兵器廃絶6・9行動 12:00 近鉄上本町駅頭
- 15 (月) 沖縄連帯行動 12:00 近鉄上本町駅頭
- 16 (火) 『いのちの海・辺野古・大浦湾』上映
14:00 たかつガーデン3Fローズ 参加費無料
- 18 (木) 東淀川医療生協憲法学習会 14:00 上羽事務局長報告
- 21 (日) 交野母親大会『ザ・思いやりII』上映 上羽事務局長助言
10:00 ゆうゆうセンター
- 26 (金) 憲法会議団体地域代表者会議 18:30 グリーン会館
- 27 (土) 関西原水協学校 in 兵庫 13:00 須磨温泉「寿楼・別館臨水亭」
石川康宏教授ら講演 全日程参加 17,000円 (~28日)

